

# シンポジウム

5月21日(金)

## シンポジウム1

### 脳腫瘍と微小環境

10:35 ~ 11:35 A会場

座長： 高知大学医学部 脳神経外科 上羽 哲也  
兵庫県立がんセンター 病理診断科 廣瀬 隆則

「リボゾームは膠芽腫細胞に幹細胞性を誘導する」

北里大学医学部 脳神経外科 秀 拓一郎

「Notch経路阻害による腫瘍微小環境の改善と免疫療法の効果増強」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科／  
テキサス大学 ヘルスサイエンスセンター 脳神経外科 大谷 理浩

「誘導ミクログリア様細胞：iMGにおけるCD206発現は、  
グリオーマ微小免疫環境を反映する」

九州大学大学院医学研究院 脳神経外科 秦 暢宏

「分化型膠芽腫細胞はYAP/TAZ-TEAD-CCN1経路によってマクロファージ浸潤を  
促進し、間葉系微小環境を構築する」

岡山大学大学院 脳神経外科／岡山大学大学院 細胞生理学 畝田 篤仁

「悪性神経膠腫における組織2-hydroxyglutarate 濃度と痙攣発症の検討」

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 大野 誠

## シンポジウム2

### メチル化解析

14:20 ~ 15:00 A会場

座長： 藤田医科大学 脳神経外科 廣瀬 雄一  
北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室 田中 伸哉

「ヒストンH3.3G34変異を有するグリオーマは骨腫瘍と共通の  
サブタイプ特異的メチル化シグナルを有する」

九州大学大学院医学研究院 脳神経外科 三月田祐平

「膠芽腫におけるMGMT遺伝子メチル化の新規解析法 - HPLC法 -」

山梨大学医学部 脳神経外科 埴原 光人

「メチオニン代謝がglioma initiating cell(GIC)に及ぼす影響の解明」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 横上 聖貴

5月22日(土)

## シンポジウム3

## 小児脳腫瘍の新展開

11:15 ~ 11:55 A会場

座長： 広島大学病院 がん化学療法科 杉山 一彦

「小児脳腫瘍における遺伝子診断とがんゲノム医療」

自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児脳神経外科 五味 玲

「頭蓋内胚細胞腫における部位別PLAP値を基盤とした実践的治療プランの構築」

東京女子医科大学 脳神経外科 藍原 康雄

「髄芽腫におけるGLI3発現および役割の解明 -完結編-」

新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学

## シンポジウム4

## 脳腫瘍遺伝子異常の画像診断

14:55 ~ 15:45 A会場

座長： 香川大学医学部 脳神経外科 田宮 隆

がん・感染症センター 都立駒込病院 病理科 船田 信顕

「術前画像所見に基づく神経膠腫治療戦略の立案：

組織診断から画像診断に基づく治療へのパラダイムシフト」

慶應義塾大学医学部 脳神経外科 佐々木 光

「BRAF V600E変異を有する成人膠芽腫の臨床像と画像所見」

北海道大学大学院医学研究院 脳神経外科 山口 秀

「IDH変異型神経膠腫における3T-MRSを用いた2HGの検出」

新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学

「MR Spectroscopyを用いた2HG測定による成人脳幹グリオーマの遺伝子診断」

神戸大学医学部 医学研究科 脳神経外科 長嶋 宏明